

令和4年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立久留米聴覚特別支援学校

自己評価					学校関係者評価		
学校運営計画(4月)				評価(総合)			
学校運営方針		子供や保護者のニーズに応じた専門性の高い教育を提供し、挑戦する意欲や規範意識、自己肯定感、社会性、学力・体力を有する聴覚障がいのある子供(パワフルキッズ)を育成する。そのために教職員自らが子供に対する深い愛情と主体性、向上心を持ち、教育力向上へのたゆまぬ努力を続ける。			自己評価は A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である		
昨年度の成果と課題		年度重点目標		具体的目標			
【成果】教育課程実践交流会及び学校給食研究大会において、教科等横断的視点に立った言語指導、家庭と連携した食育の充実を図ることができた。 【課題】幼・小・中の一貫した言語環境の整備と言語活動の充実及びPDCAサイクルに基づく授業改善を図る。	学力・体力の向上		「生きる力」の育成を目指した主体的・対話的で深い学びの実現、学力向上のための授業改善、読書活動の推進、外国語・外国語活動の充実、ICT教育の推進、県内外の競技会への積極的参加及び運動活動の推進、遊ぶ時間の確保等を通し、学力・体力の向上を図る。				
	言語力・コミュニケーション力の向上		日本語の読み書き力の向上を目指した授業改善、「話し合い」活動の充実、「言葉の時間」の充実、豊かな手話表現習得を目指す場の設定、ろう者や聴者に関わる場を通じたコミュニケーション力の育成、体験活動の推進を通し、言語力・コミュニケーション力の向上を図る。				
	障がい認識・自己肯定感・規範意識・社会性の向上と危機管理体制の強化		障がい認識を育む教育の推進、キャリア教育・人権教育・道徳教育の充実、生徒指導の充実、パワフルキッズタイム(小・中)の充実、ライフスキル教育の実践、危機管理マニュアルの見直し等を通し、社会性等の向上と危機管理体制の強化を図る。				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題			
教務部	教育課程や学校行事等を精査しながら質の向上を図るとともに、諸機関との連携により、よりよい教育活動づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 質を重視した効果的な教育課程の編成に努めるとともに、行事の目的や意義を明確にした上で、その精選に努める。 PTA役員会の内容を部内で共有するとともに、協議内容を学校運営に反映できるよう努める。校内掲示板の整備に努める。 					
情報教育部	教員のICTリテラシー・スキルの向上を図って児童生徒の深い学びを進めるほか、HPの充実を図り、本校教育への理解・啓発に努める。	<ul style="list-style-type: none"> プログラミング教育の推進、ロイロノートなどのアプリの活用を図るために、6月から8月に職員研修を実施する。[4回実施予定] HP作成を簡素化し、行事担当者とHP担当者が連携して記事を更新する。保護者への案内もHPを活用する。[毎月] 					
研修部	聴覚障がい教育の専門性、保育及び教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 全体授業研究会の実施[年間3回]、公開授業週間の設定[年間2回] 夏期講習会の計画・実施 					
生徒指導部	規範意識を高め、主体的に行動できる力を高めるとともに、互いを思いやり、自他の良さを認め合う人間関係を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 小・中合同集会「パワフルキッズタイム」を毎月実施する。[毎月] 日々の行動観察や月1回の「学校生活アンケート」、学期に1回のいじめに特化した無記名アンケートをもとに、いじめ等の早期発見に努める。[いじめ等の問題の報告漏れゼロ] 					
保健部	一人一人の心身の状態に応じた保健指導の充実を図り、心身ともに健康な幼児児童生徒の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児児童生徒が自ら身の回りを清潔に保つことができよう清掃や衛生に関する掲示物を作成する。 登校時の検温、休み時間や給食前後の手洗い・うがい等の感染予防のための指導を徹底する。[毎日] 					
進路・相談支援部	関係機関との連携を深め保護者も含めたキャリア教育を進め、障がい認識を深める取り組みの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関を訪問し、本校の理解啓発活動を行うと共に、関係機関と連携し聴覚障がい教育について幅広く学ぶことのできる保護者教室、講習会を計画、実施する。(年間18回 → 20回) 幼児児童生徒一人一人のキャリア発達について、保護者と共に取り組むために、キャリアパスポートの活用や保護者学習会における成人ろう者との出合いの場の設定、就学・進路・就労に関する情報提供を行う。 					
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見						

